

# 子どもの権利に関するワークショップ 中間報告

## 実施状況

対象：小学生

施設	学年	人数	日時
緑ヶ丘子どもプラザ	1～4年生	13人	8月6日(火) 午前10時～正午
中条子どもプラザ	1～6年生	15人	8月22日(木) 午前10時～11時30分
青木島子どもプラザ	3～5年生	13人	11月12日(火) 午後4時～5時
松ヶ丘子どもプラザ	3～5年生	15人	11月13日(水) 午後3時30分～4時30分

## 対象：中学生～高校生

施設	学年	人数	日時
第一学院高等学校	中学3年生 高校1年生 2年生	13人	8月19日(月) 午後1時～2時30分
市立長野高等学校	2年生	1クラス目 1回目 37人 2回目 35人	8月28日(水) 午後2時50分～3時40分
			9月2日(月) 午前8時45分～9時35分
		2クラス目 1回目 37人 2回目 35人	8月30日(金) 午後1時50分～2時40分
			9月2日(月) 午前11時45分～12時35分
市内高校生	1年生～ 3年生	4人	11月10日(日) 午後1時30分～3時30分

# ○小学生向けワークショップ（すごろくを活用）

## （1）実施方法

### 説明

- ・ 子どもの権利について説明

### すごろく

- ・ 3～4人のグループに分かれ「なんでやねん！すごろく」実施

### まとめ

- ・ 普段の生活で **おかしいと思**うことを付箋に書き出す

#### ◆ 「なんでやねん！すごろく」について

- ・ 子どもの権利条約を知るために、関西の子どもたちが作ったすごろくで、子どもたちの日常の中の「なんでやねん！」が詰まったゲーム
- ・ サイコロを振り、「なんでやねん！」のマスに止まると「なんでやねん！カード」を1枚引き、読み上げる。「なんでやねん！カード」には、「子どもには食べさせないおいしいお菓子を、大人だけ夜に食べている」など、子どもが日常的に「おかしい」と感じることが書かれている。読み上げた後は、そのカードが、条約の4つの柱（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）の中でどの権利にあてはまるのかを考える。

## (2) 子どもたちが普段の生活でおかしいと思うこと (一部)

- ・教室の席を好きに決められない
- ・他のクラスはシャーペンを使っていいのにうちのクラスはだめ
- ・夏休みの宿題が山ほどある
- ・学校であまり意見が言えない
- ・あまり食べられない子にむりやり食べさせようとしない方がいい
- ・まだ休み時間なのにチャイムが鳴る3分前に着席する
- ・プラザで遊ぶ時間を決められている

学校・子ども  
プラザのこと

- ・友達が消しゴムを勝手に持って行った
- ・男子たちが「〇〇は女だからダメ」と差別した
- ・嫌なあだ名で笑いながら呼ばれて嫌だと言ったらまた笑われた
- ・教室で遊ぶことになったので「入れて」と言ったら「たくさんいるからダメ」と言われた

友達のこと

- ・家で手伝いをしようと思ったら「やらなくていい」と言われた
- ・ゲームは1日1時間と親が勝手に決めた
- ・親が私の話をぜんぜん聞かない
- ・「美容院の店員さんになりたい」と言ったら反対された
- ・大人がすぐ「子どもだから」と言ってくる

親・家族  
のこと

- ・バイトは高校生からしかできない
- ・ゲームと勉強を平等にしてほしい (勉強は頭よくなるけど、ゲームは楽しさがわかる)

社会 (地域)  
のこと

# ○中学生・高校生向けワークショップ①（すごろくを活用）

## （1）実施方法

### 説明

- ・ 子どもの権利について説明

### すごろく

- ・ 3～4人のグループに分かれ「なんでやねん！すごろく」実施

### まとめ

- ・ グループごとに、「なんでやねん！すごろく」の「なんでやねん！カード」の中から、特に権利が守られていないと思うカードを選ぶ。
- ・ そのカードを選んだ理由や、どうすればそれが解消できるかを考え付箋に書き出す。

## (2) 子どもたちが選んだカードと考え

カード内容	選んだ理由	どうすればそれが解消できるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは外国から引っ越してきたので、学校で言葉がわからなくて困っているのに、助けてもらえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳機を使えるようにするか、母国語で外国語を話せる人に来てもらう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯が痛くて、何も食べられないのに、何もしてくれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康でいられない。</li> <li>・体調が悪い日が続くと、だんだん無視されるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費を渡す。</li> <li>・国、自治体にお金を支給してもらう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻して学校に行ったら、この時間からの登校は認めないと帰らされた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活に遅刻をしたら、練習するなと言われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる人に合わせて進めるのではなく、1人1人に気を使った対応を。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の「ちょっと待って」が長い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと待ってと言われ、数時間後にまた聞いてみたら、忘れていたこと。</li> <li>・出かける前に30分待たされた。早く準備したのにそれが無駄になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番に1つ1つのことを済ませるように行動する。</li> <li>・数回聞いて思いださせる。</li> <li>・時間を確認する。</li> <li>・しっかり準備してほしい</li> <li>・言い方をどうにかしてほしい。</li> </ul>

カード内容	選んだ理由	どうすればそれが解消できるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はやっていないのに「どうせ君がやった」と決めつけられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決めつけは良くない。</li> <li>・友達が、関係ないもめごとに「どうせお前がやったんだろ」と無実なのに罪をなすりつけられていて、理不尽だと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと確認する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTを馬鹿にされる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことじゃないから馬鹿にされることはおかしい。</li> <li>・自分自身を否定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルにやめてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生になっても、学校以外は一人で、どこにも行かせてもらえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生になるといろいろな所に行くことが増えるのに、一人での外出禁止は健康的にも精神的にもよくないと思う。</li> <li>・バイクの免許をとれる年齢だし、過保護すぎる気がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったり、ルールを作ったりして安全に外に行けるようにする。</li> <li>・親はもっと子どものことを信頼してもいいと思う。しっかり決まりをつくれればいい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりご飯を食べない子に対して先生がぶりっ子とみんなの前で怒る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけでなく、みんなの前で言われることでさらされた気分になる。</li> <li>・ぶりっ子は完全に偏見だと思う。みんなの前で怒る必要性がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に事前に相談して、少食について理解してもらおう。</li> </ul>

# ○中学生・高校生向けワークショップ②（条約の条文カード活用）

## （1）実施方法

### 説明

- ・ 子どもの権利について説明

### ワーク

- ・ 4～5人のグループに分かれ、児童の権利に関する条約の中から、**守られていないと思う権利(条項)**を選び、守られていないと思う理由、どのようにすれば守られるかを考える。

### まとめ

- ・ グループごとに、守られていないと思う権利(条項)の中から1～2つを選び、高校生自身が大人になったときに、どのような長野市になっていることが望ましいかという視点で、**大人・子どもそれぞれの役割**を考える。

## (2) 子どもたちが選んだ、守られていないと思う権利と目指す姿、大人・子どもの役割 (主なもの)

条約の条項	背景	目指す姿	大人の役割	子どもの役割
第2条 差別の禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめは人が傷つく</li> <li>・ 孤独になってしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめのない状態、個性を尊重し合える状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの話を聴く（いじめの早期発見）</li> <li>・ 見て見ぬふりをしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめを見たら解決できる大人に言う</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女差別、いじめ、知る権利が男女平等でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別・いじめのない世界</li> <li>・ 相手との違いを認める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様性を広げ、偏見などによる差別が起こらないような社会を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自我を持ち、他人に流されない</li> </ul>
第12条 意見を表す権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員の前では自分の意見が言いつらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末を活用して先生だけに名前と意見の内容を反映させればよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人が生徒に対して思いやりを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の意見を尊重する</li> <li>・ 空気を読むよう促す</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代に合った校則があるべき</li> <li>・ 大人が良くて子どもがダメなのはなぜ？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなが納得する校則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当に必要か考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その上で、決まった校則は守る</li> </ul>

条約の条項	背景	目指す姿	大人の役割	子どもの役割
<p>第16条 プライバシー・ 名誉の保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なりすましによって騙される人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なりすましがなくなる</li> <li>・ SNSでの写真の使い方や投稿に気を遣う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どものSNS利用の制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS利用の知識を付ける</li> <li>・ 詐欺についての高齢者向けの啓発ポスターを作る</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットに個人情報や家・学校などを特定され、載せられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全にネットが使える</li> <li>・ ネット上に個人情報が載らない</li> <li>・ 嫌がらせや嫌な思いをする人がいない状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットの使い方・個人情報の大切さを教える</li> <li>・ 個人情報が書き込まれたら削除する仕組みづくり</li> <li>・ 自分や人の個人情報を載せない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットの使い方を学ぶ</li> <li>・ 自分や人の個人情報を載せない</li> <li>・ 悪用しない</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSを通じての誹謗中傷、個人情報の特定が絶えない→された側がとても傷つく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誹謗中傷が一切なくなり、特定もしなくなり、プライバシーが守られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府の監視下に置く</li> <li>・ 罪を重くする</li> <li>・ 教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親と共有する</li> </ul>

条約の条項	背景	目指す姿	大人の役割	子どもの役割
<p>第31条 休み、遊ぶ権利</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活の休みがなく、疲労がたまってケガにつながる</li> <li>・遊ぶ時間がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みを作る</li> <li>・子どもの意見を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みを作ってほしいと訴える</li> <li>・積極的に部活に参加する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活と課題が多すぎて自分の時間がない</li> <li>・よほど体調が悪くないと休ませてもらえない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みたいときに気軽に言えて、それを実現できる状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会全体を週休3日制にする</li> <li>・誰かが休んでも「代わりがいる」、「後で補える」余裕がある環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える努力をする</li> <li>・やりたいことの優先順位をつける</li> </ul>

# ○中学生・高校生向けワークショップ③（哲学対話※）

## （1）実施方法

### 自己紹介、 アイスブレイク

- ・ 名前（ニックネーム）、今の気持ち
- ・ カードゲームを使ったアイスブレイク

### 大人に対する子どもの不満を テーマにした絵本の読み聞かせ

- ・ ファシリテーターによる絵本の読み聞かせ
- ・ それぞれ感想を言い合う

### 哲学対話

- ・ 普段の**不満や思い**を付箋に書き出し、その理由を考えながら哲学対話を行っていく。

※哲学対話とは  
日常の中で感じる問いを、参加者が対話して深めていく手法

## (2) 子どもたちの思いや考え

### テーマとした内容

どうして大人は高校生（子ども）だからと言う？



- ・子どもは世の中を知らないと思われがち。
- ・自分の子どもはこうあってほしいという、願望の現れ？

責任ってなんだろう？



- ・自分事として受け止めること
- ・本人の自覚が伴うこと？
- ・何かされた相手の傷を癒せたら。

学歴とか大事なの？



- ・高1から受験の話ばかり。もっと遊ばせてほしい。
- ・偏差値で判断される。
- ・授業がつまらないのに寝たら怒られる。

## テーマとした内容

理不尽ってどうして思うの？



## 出された意見（一部）

- ・話が通じない、聞いてくれない、決めつけられる、会話をあきらめざるを得ない。
- ・「聴いてもらう」という選択肢が自分がない。受け入れるしかないと決めつけてしまう。
- ・知りたいと思っても、それを相手に伝えられない？

不満って大人は聞いてくれる？



- ・話は聞くけど解決まではしてくれない。
- ・自分のあたりまえと、相手のあたりまえのズレが不満。
- ・自分から遠い人は聞いてくれない。